

CODE
25



取扱説明書




Marshall

安全上のご注意



ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、電気音響機器全般の製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。(説明項目の中に該当しない内容が含まれている場合があります)









	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。



■記号表示について
この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



	警告	間違った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
	注意	間違った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの


■「警告」と「注意」について
以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

警告







電源/電源コード	
	電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。 また、電源コードに重いものをのせない。 電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない、機器にさわらない。感電の原因となることがあります。
	付属の電源コードをほかの製品に使用しない。故障、発熱、火災などの原因になります。
	電源プラグは、見える位置で、手の届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。
	電源は必ず交流100Vを使用する。 エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災の恐れがあります。
	電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。 確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。
	電源コードは、必ず付属のものを使用する。 故障、発熱、火災などの原因になります。
	手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 感電の恐れがあります。





分解禁止	
	火災や感電を防ぐために製品の内部を開いたり、内部の部品を分解しない。製品の内部には、お客様が修理や交換できる部品はありません。製品の点検、修理は必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。 



水に注意	
	本体の上に花瓶や薬品などの液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたうえで、お買い上げの販売店 または、ヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない、機器にさわらない。感電の原因となることがあります。



火に注意	
	本体の上でろうそくなど火気のあるものを置かない。 火災の原因になります。


注意




電源/電源コード	
	電源コードが破損するような事をしない。(感電や火災の原因になります) ■ ストーブなどの熱器具に近づけない ■ 無理に曲げない ■ 加工したり傷つけたりしない ■ 電源コードに重いものをのせたり引っ張ったりしない ■ 電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに、電源プラグを持って引き抜く
	電源コードなどの被覆剥けを放置したり、ビニールテープなどで応急修理したりしない。製品の点検、修理は必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
	タコ足配線をしない。コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。
	長期間使用しない時や落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電、ショート、発火などの原因になります。
	電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。電源プラグの差し込みが不十分のまま使用すると感電や、プラグに埃がたまり発熱や発火の原因となります。
	電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。発熱や発火の原因となります。


接続	
	電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正しく入れる。極性表示を間違えて入れると破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。
	製品を長時間使用しない場合は、電池を電池ケースから抜いておく。電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本機を損傷するおそれがあります。
	使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外し、自治体の条例または取り決めに従って破棄する。電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。
	電池は幼児の手の届かないところに保管する。 お子様が誤って電池を飲み込んだ場合、窒息や体内の損傷を起こすおそれがあります。誤って電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

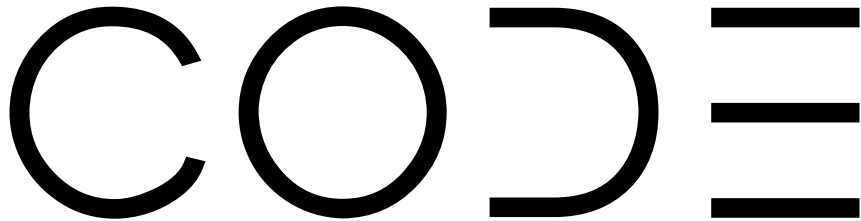
接続	
	すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。聴覚障害または機器の損傷の原因になります。
	大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害の原因になります。

電源アダプター	
	衣類や布団、テーブルクロスなどでおおった状態で使わない。熱がこもり本体ケース部の変形や、火災の原因となることがあります。
	ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させるなど、強い衝撃を与えない。破裂したり、火災の原因となることがあります。

異常に気づいたら	
	電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。 ■ 電源コードやプラグが破損した場合 ■ 製品の内部に液体、異物が入った場合 ■ 落下した場合、外装が損傷した場合 ■ 使用中に正常に作動しない場合、性能が著しく劣化した場合そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

電池	
	指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。
	電池と金属片をいっしょにポケットやバックなどに入れて、携帯、保管しない。電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。
	使用後の乾電池は火中に捨てない。乾電池は一般のゴミとは分けて、定められた場所に捨てましょう。

無線機能を有する製品に関する注意	
	製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線(免許を要する無線局)が運用されています。



はじめに

CODE は、新世代の Marshall アンプです。プログラム可能な CODE は、クラシックかつコンテンポラリーな Marshall トーンの真のモデリングをプロ品質の FX と組み合わせました。CODE プリアンプ、パワーアンプおよびスピーカーキャビネットモデルは、オーディオソフトウェアのパイオニア Softube とのコラボレーションによって開発され、Marshall-Softube (MST) モデリングを実現しました。Bluetooth® および USB 接続、Marshall Gateway™ との互換性を活かした CODE は、オリジナリティ溢れる音楽を作ることができる強力なツールです。

概要

CODE には可能性に富んだサウンドが満載です。14 台の MST プリアンプ、4 台の MST パワーアンプ、8 個の MST スピーカーキャビネットを備えています。また内蔵エフェクターには、コンプレッサー、ストンプボックスディストーション、オートワウ、ピッチシフター、コーラス、ビブラート、フェイザー、バイブ、フランジャー、トレモロなど、24 の FX を備えています。スタジオ、ビンテージ、マルチおよびリバーブディレイ、タップテンポ、スタジオ品質のリバーブも含まれます。各 FX セクションより 1 種計 4 種 + AMP セクション内「GATE」の、合計最大 5 つの FX を同時に使用することができます。

iOS または Android デバイス用の Marshall Gateway App を使用して、Bluetooth 経由で CODE の設定をリモート制御し、将来的には他ユーザーとプリセットを共有することができます。デバイス、コンピューター、MP3 プレーヤーなどから、CODE のスピーカーまたはヘッドフォンを通じてオーディオをストリーミングして練習したり、ミュージックライブラリからトラックをストリーミングしてジャムすることができます。USB 経由で接続して、CODE アンプを DAW インターフェイスとして使用します。

CODE アンプをお楽しみになり、さまざまな状況で素晴らしい演奏に成功されることをお祈りします。マーシャル製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

- マーシャルチーム

CODE25 技術データ

出力 (RMS)	25 ワット
プリセット	ユーザー編集可能な 100 個のプリセット
スピーカー	10 インチカスタムボイスिंग
フットコントローラー	4 ウェイプログラム可能 (PEDL-91009、別売り)
重量	8 kg
寸法 (mm)	350 x 340 x 215
接続	Bluetooth® 4.0 および USB 2.0

MARSHALL アンプの歴史

MST モデリングにより、50 年以上前から最も成功を収め、敬意を払われてきたアンプのプリアンプの音質および音響特性を再現しました。

JTM45™

JTM45 は Marshall の最初のアンプです。1962 年に、ジム・マーシャルと少人数のエンジニアのチームによって、ロンドン、ハンウェルにある彼の楽器店の作業場で製作されました。この 30 ワット 2 チャンネルのアンプが、ロックおよびブルースのサウンドを永久に変えてしまう革命のスタートとなりました。JTM45 は、Vintage Re-Issue™ Series および Handwired™ Series の一部として現在でも製造されています。

1962 Bluesbreaker™

1962 Bluesbreaker は、Marshall による初のコンボです。1965 年に発売され、出力 30 ワットの 12 インチスピーカーを 2 個搭載していました。1962 は、1966 年に大きな反響を呼んだブルースアルバム「John Mayall's Bluesbreakers」でエリック・クラプトンが使用したことで有名になり、Bluesbreaker のニックネームで呼ばれています。1962 Bluesbreaker は、Vintage Re-Issue™ Series および Handwired™ Series の一部として現在でも製造されています。

1959™ Plexi™

多くの人々の心と耳にとって、1960 年代半ばから末にかけての 100 ワットの Super Lead ヘッドは、偉大なロックトーンの聖杯です。マスターボリュームを搭載していないモデルであり、パワーバルブのオーバードライブにより、応答性の高い、音調が美しく調和の取れたリッチな音質を生み出します。1959 アンプは、Vintage Re-Issue™ Series および Handwired™ Series の一部として現在でも製造されています。

JCM800 2203™

2203 は、Marshall の製作したものの中で最も重要なアンプのうちのひとつです。1970 年代に、JMP および 1959 Plexi ヘッドから発展しました。1980 年代には、現在の JCM800 2203 に発展し、単純明快なシングルチャンネルアンプとして、時代を席卷したヘビーマタルシーンで人気を集めました。その人気は、グランジやブリットポップの発生を受けて 1990 年代に入ってから続き、その影響は現在も残っており、モダンなオールメタルアンプの評価基準とみなされています。

JCM2555™ Silver Jubilee™

25/50 Silver Jubilee Series は、Marshall Amplification の 25 周年とジム・マーシャルの音楽ビジネス歴 50 年を祝して 1987 年に製作した製品です。JCM800 2203 および 2204™ Master Volume モデルに基づく Silver Jubilee アンプは、クリーン、リズムクリップおよび切り替え可能なリードチャンネルという、3 つのゲインモードを特徴とする特殊なプリアンプ回路を備えていました。2555 は、Jubilee Series の 100 ワットヘッドであり、限定版でした。高い人気を受けて、JCM2555 は、2015 年に 2555X™ として再発売されました。

JCM2000™ DSL100™

1997 年に発売された JCM2000 Dual Super Lead のデュアルモード設計は、クラシック・ゲインチャンネルからクリーンまたはクランチトーンを選択することができる一方、ウルトラ・ゲインチャンネルでは、リード 1 およびリード 2 の 2 つのリードサウンドを提供するというものでした。このトーンの自由度の高さは、ディープおよびトーンシフト機能によって補助されていました。JCM2000 DSL100 は、トーン範囲と自由度の高さから非常に人気を集め、人気の高さ故に、現在の DSL Series にもその伝統が息づいています。

日本語

MARSHALL アンプの歴史 (続き)

JVM410H™

2006 年の JVM410H の発売は大きな評判を呼びました。この 100 ワットヘッドは、オールバルブの多彩なトーンのモンスターであり、4つのチャンネルにそれぞれ、グリーン、オレンジおよびレッドの 3 つのモードを備え、ギタリストに 12 種類のユニークなトーンを提供します。各モードでは、チャンネルゲインステージを再構成し、異なるゲインおよびトーン量を作り出します。多彩なトーンスペクトルを持つ JVM410H は、多くのプロミュージシャンに愛用されています。

パワーアンプ

MST モデリングにより、4 つのクラシックおよびビンテージバルブ電力出力トポロジーを再現しました。オールバルブアンプのサウンドとその音質にとって、バルブパワーステージは極めて重要な部分です。

スピーカーキャビネット

Marshall のスピーカーキャビネットは、Marshall のアンプと同じくらい有名でしょう。象徴ともなっている 4 x 12 インチの設計は、ジム・マーシャルによる 1965 年の最初の設計からほぼ変わらない設計です。それ以来、Marshall の 4 x 12 インチ設計は、すべてのスピーカーキャビネットの標準となっています。MST モデリングにより、4 x 12 インチ、2 x 12 インチ、1 x 12 インチのスピーカー構成を含む、8 つのクラシック Marshall スピーカーキャビネットの音響特性を再現しました。Marshall のスピーカーキャビネットは、スピーカー構成だけではなく、使用するスピーカーユニット、配線、キャビネットのサイズなども異なります。

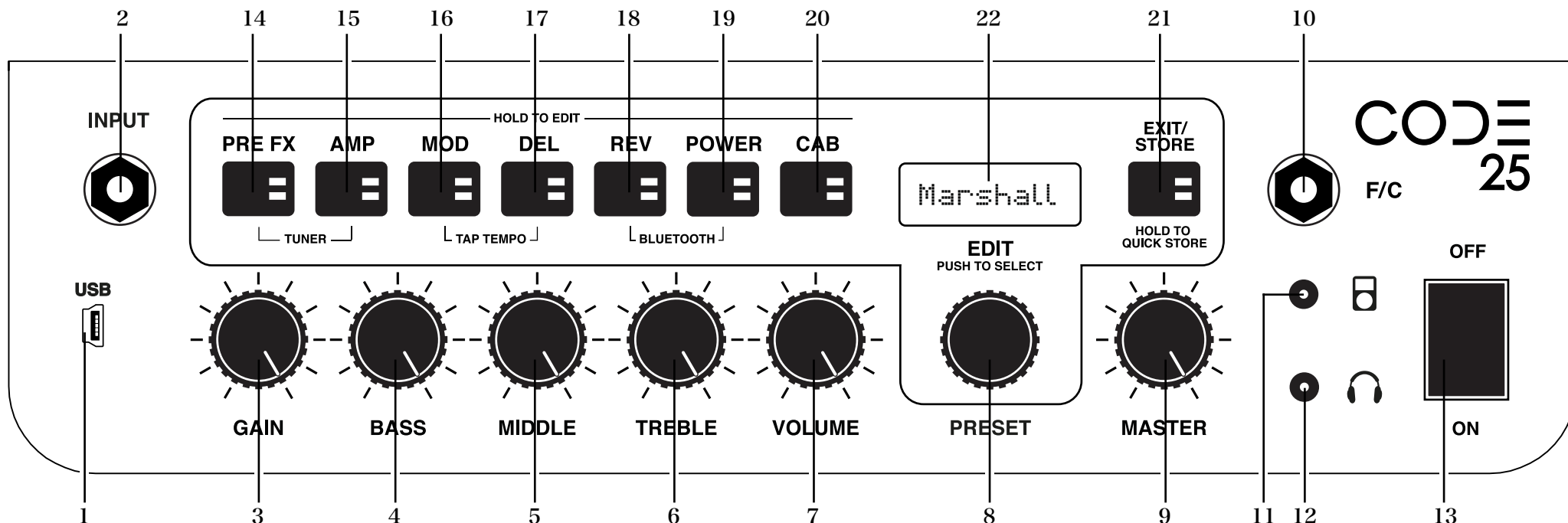
操作の準備

CODE の使用を始めるには:

- 電源オン/オフスイッチがオフになっていることを確認してください (この取扱説明書の 13)。
- 壁面のコンセントにプラグを差し込む前に、電源コードのプラグをアンプ背後の電源ソケットに接続します。
- ギターケーブルをアンプの入力ジャックソケットに差し込みます (この取扱説明書の 2)。
- マスターボリュームコントロールをゼロに合わせます (この取扱説明書の 9)。
- オン/オフスイッチでアンプをオンにします。
- 目的のボリュームレベルまでマスターを少しずつ回して上げます。
- プリセットセレクターを回して、CODE の出荷時のプリセット値を確認します (この取扱説明書の 8)。

日本語

フロントパネルの機能



1 USB

USB 経由で接続して CODE を DAW インターフェイスとして使用し、ミュージックライブラリからトラックを再生したり、ファームウェア更新を取得したりできます。

DAW を使用して CODE で録音するには:

- USB 経由でコンピューターを接続します。
- コンピューター上および DAW 内で、入力ソースとして CODE アンプを選択します。

コンピューターから CODE を通じてオーディオをストリーミングするには:

- USB 経由でコンピューターを接続します。
- コンピューターの出力ソースとして CODE アンプを選択します。
- マスターコントロールを使用して、音量レベルを調整します (この取扱説明書の 9)。

CODEシリーズのファームウェアは随時更新されます。

CODEファームウェアを更新するには、
<http://www.marshallamps.jp/support/downloads/>
 このリンクにアクセスし、インストール方法を
 確認し、
 MARSHALL FIRMWARE UPDATE UTILITY
 よりダウンロード、インストールして
 更新を行ってください。

2 INPUT

ギターをアンプに接続します。

3 GAIN

プリセットに導入されるゲインを制御します。ゲインを高くするほど、プリアンプのドライブ量が増え、サウンドが激しくなります。

4 BASS

ベースを回して、サウンドの暖かみとローエンドの深みを調整します。

5 MIDDLE

ミドルの調整は、中域の周波数をブーストまたはカットすることで、サウンドのボディの量を変化させます。

6 TREBLE

トレブルを上げると、サウンドが明るくなり、カッティングが強まります。トレブルを下げると、トーンのエッジが減り、ソフトなサウンドになります。

7 VOLUME

選択したプリセットの範囲内で音量レベルを制御します。

! GAIN, BASS, MIDDLE, TREBLE, および VOLUME はプリセット呼び出し時の値と実際のつまみの位置は連動していません。つまみを動かした瞬間に、動かしたつまみの位置の値に変更されます。保存しない限り、再びプリセットを呼び出した場合の値に変化はありません。

! GAIN, BASS, MIDDLE, TREBLE, および VOLUME がアクティブの場合、EXIT/STORE LED が赤色に点滅し、プリセットに保存された設定が変更されたことを示します。

フロントパネルの機能 (続き)

8 PRESET

プリセットは、イコライザーの設定値および FX(コーラス、ディレイ、リバーブなど) を CODE アンプのメモリの 1 箇所保存したプリアンプ、パワーアンプおよびスピーカーモデルの組み合わせです。プリセットは、アンプの設定値全体 (マスターは除く) の「スナップショット」のようなものであり、プリセットセレクター、Marshall Gateway™ App、または CODE フットコントローラーで呼び出せます。

プリセットセレクターを回して、CODE の出荷時のプリセット値を確認します。

❗ プリセットの編集方法については、この取扱説明書の「プリセットの編集」のセクションを参照してください

9 MASTER

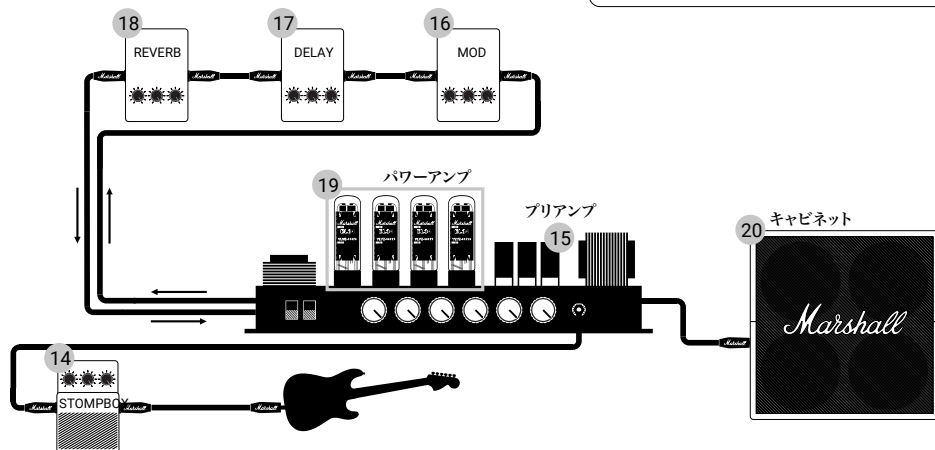
CODE アンプの全体的な音量レベルを調整します。

❗ マスター音量コントロール設定は、プリセットの一部として保存されません。

セクションスイッチ (14 - 20)

セクションスイッチは、ギター信号が通過する各セクションを表します。これは、従来の一般的なアンプの、ギターからスピーカーまでギター信号が通過するルートです。

セクションスイッチ (この取扱説明書の 14 - 20) を押して、セクションをアクティベート (赤色 LED が点灯) およびバイパス (LED 消灯) します。



10 F/S

CODE フットコントローラー (PEDL-9100 9 別売り) を接続します。

11 AUX

この専用ミニジャックソケットを使用して音楽再生デバイスを接続し、練習または音楽に合わせてジャムセッションします。

12 Headphone

このミニジャックソケットを使用して、「サイレント」練習用のヘッドフォンを接続します。ライン出力として使用することもできます。

13 ON/OFF

CODE 本体の電源オン/オフスイッチです。

フロントパネルの機能 (続き)

14 PRE FX

ここではギターおよびアンプ入力に接続される、FX セクションです。これらの FX は、一般的にはペダルの FX で、ストンプボックスとも呼ばれます。プリ FX セクションには、以下のストンプボックス FX があります。

ストンプボックス FX



コンプレッサー

コンプレッサーは、ギター信号のダイナミックレンジに影響します。CODE コンプレッサーは、設定したレベルを超えるギターサウンドのピーク部分を低減または圧縮します。設定したレベルを超えないギターサウンドの部分には影響しません。コンプレッサーは、クリーンまたはオーバードライブのいずれであっても、ギターサウンドに透明性と一貫性を追加することができます。コンプレッサーの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
Tone	0 - 10	コンプレッサーの高域および低域の周波数を調整します
Ratio	0 - 10	レベルを超える信号に適用される圧縮の程度を調整します。
Compress	0 - 10	信号に圧縮が適用されるポイントを調整します。
Level	0 - 10	コンプレッサーの全体的な音量レベルを調整します。

ディストーション

CODE のストンプボックスディストーションには、3 つのモードがあります。GUV モードは、ドライブおよびトーンコントロールを備えた Marshall Guv'nor™ です。ODR および DIS モードは、クラシックなオーバードライブおよびディストーションストンプボックスのフレーバーを提供します。ストンプボックスディストーションは、クラシックおよびビンテージ MST プリアンプモデルと使用する際に特に効果的で、ドライブとサステインを増やすことができます。ディストーションの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
Mode	GUV, ODR および DIS	Marshall Guv'nor、クラシック OD ペダル およびクラシックディストーションペダル。
Drive	0 - 10	信号に適用するオーバードライブまたはディストーションの量を調整します。
Tone	0 - 10	オーバードライブまたはディストーションの中域以上の周波数成分を調整します。
Level	0 - 10	ディストーションの全体的な音量レベルを調整します。

フロントパネルの機能 (続き)

14 PRE FX

ストンプボックス FX



Auto Wah

オートワウは、ワウワウペダルに似た、ダイナミックフィルターです。ワウワウペダルには、フィルターの動作する周波数を調整する「ロッカー」フットペダルがあります。オートワウには「ロッカー」フットペダルがないため、ENV モードでは、ロッカーオートメーションが入力レベルに反応します。LFO モードでは、ロッカーオートメーションは完全に自動化されます。オートワウの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
Mode	ENV および LFO	エンベロープフィルターおよび低周波数オシレータ。
Frequency	0 - 10	周波数または、ワウの完全に閉じた位置を調整し、演奏時にフィルターが開く長さを調整します。
Sensitivity	0 - 10	ENV モード:ピックアタックに比例してワウが開く度合いを調整します。 LFO モード:ワウが開閉する速度を調整します。ゼロに設定すると、オートワウが固定ロッカーワウとして動作します。
Res	0 - 10	フィルターのレゾナンスピークの大きさ、帯域幅および形状を調整します。

Pitch Shifter

ピッチシフターは、変調機能を備えており、半音階の和音を生成します。これにより、ピッチを上下させ、オクターブ、3rd、4th または 5th の和音を生成することができます。ピッチシフターでは、不協和音の癖のあるサウンドを生成することもできます。ピッチシフターの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
Semitone	-12 - +12	演奏されたノートの 1 オクターブ下から 1 オクターブ上までの半音階的に生成されたノードのピッチを選択します。
Fine	-50 - +50	生成された音譜のピッチを微調整します。
Regen	0 - 10	ピッチシフターにフィードバックされる信号のパーセンテージを調整します。ピッチシフトされたトーンがひとつの場合は、ゼロに設定します。
Mix	0 - 10	ギター信号と生成された音譜の間のバランスを調整します。

フロントパネルの機能 (続き)

15 AMP

AMP は、プリアンプを意味します。MST モデリングにより、クラシックおよびモダン Marshall バルブトーンはもちろん、その他の有名なバルブアンプのトーンを忠実に再現しました。各アンプモデルは、プリアンプの設定を忠実に再現します。MST プリアンプモデルは、クリーン、クランチおよびオーバードライブの 3 つのグループに分類されます。

CODE アンプには、以下の MST プリアンプモデルがあります。

プリアンプモデル



クリーン

JTM45™ CL DSL CL アメリカ製 CL JVM アコースティックシミュレーター	クリーン設定の JTM45 2245。 クラシックゲインチャンネル、クリーン設定の DSL100H。 クラシックアメリカ製ピュアバルブサウンド。 グリーンモードのクリーンチャンネルの JVM410H。 エレクトリック・アコースティックギターのサウンドをシミュレートします。
---	--

クランチ

Bluesbreaker™ Plexi™ CR アメリカ製 JCM800™ 1950 年代イギリス製	1962 Bluesbreaker コンボオーバードライブ。 1959SLP オーバードライブ。 クラシックアメリカ製バルブオーバードライブ。 JCM800 2203 オーバードライブ (高感度入力)。 クラシックイギリス製バルブコンボオーバードライブ。
--	---

オーバードライブ

OD JVM OD DSL OD アメリカ製 OD Silver Jubilee	レッドモードの OD1 チャンネルの JVM410H。 JCM2000 DSL リード 2 チャンネル。 クラシックアメリカ製高ゲインオーバードライブ。 JCM2555 Silver Jubilee リードチャンネル。
---	--

ナチュラル

ナチュラルプリアンプは、MST モデリングされたプリアンプの音色なしで、外部 FX で使用するために設計されています。トーン形成用の EQ およびゲートへのアクセスを提供します。

ゲート

ノイズゲートを使用する場合、音量が設定レベルを下回るとゲートが有効になり、小さな信号をカットします。これによりギターからの不要なノイズを抑制します。

パラメータ	値の範囲	説明
Threshold	0 - 10	ゲートが閉じ始めるポイントを設定します。

フロントパネルの機能 (続き)

16 MOD

MOD はモジュレーションを意味します
アンプの FX ループ経由で接続されます。

変調 FX



Chorus

コーラスおよびビブラート FX は、ギター信号に微妙なピッチ変動を生み出し、デリケートなうねりのシマーから、完全な揺らぎまでサウンドを変化させます。これにより、クリーンなサウンドに深みと幅が追加され、ソロに厚みが生まれます。コーラスの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
Mode	CLS および VIB	クラシックコーラスおよびビブラート。
Speed	0 - 10	コーラスおよびビブラート効果の速度を調整します。
Depth	0 - 10	コーラスおよびビブラート効果の深さを調整します。
Tone	0 - 10	サウンドの高域および低域周波数成分をブーストまたはカットします。

Flanger

フランジャーはコーラスに似たサウンドを生成しますが、よりビビッドで、複雑な音調を生み出します。「ジェット機」ドップラー-FX や共鳴メタリックウーッシュのような、不気味で不思議なサウンドを作成することができます。フランジャーの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
Mode	JET および MET	ジェットフランジャーおよびメタリックフランジャー。
Speed	0 - 10	フランジャー効果の速度を調整します。
Depth	0 - 10	フランジャー効果の深さを調整します。
Regen	0 - 10	効果入力にフィードバックする信号の量を調整します。この信号は、フランジャー効果をよりシャープにします。

Phaser

フェイザーでは、オールパスフィルターを使用して、ギター信号をごくわずかにシフトさせます。シフトまたは位相を調整された信号を、オリジナルの信号に比例して変調させ、クラシックなフェイザーサウンドを生成します。タイトなファンキーライン、スウィープおよびスウェルに最適です。フェイザーの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
Mode	CLS および VBE	クラシックフェイザーおよびバイブ。
Speed	0 - 10	フェイザーおよびバイブ効果の速度を調整します。
Depth	0 - 10	フェイザーおよびバイブ効果の深さを調整します。
Regen	0 - 10	効果入力にフィードバックする信号の量を調整します。この信号は、フェイザー効果をよりシャープにします。

フロントパネルの機能 (続き)

16 MOD (続き)

変調 FX



Tremolo

クールなサウンドのトレモロ効果は、信号を上下に変調させて生成されます。トレモロは、デリケートなシマーからヘビーなトレモロスロブまで、多様なサウンド効果を生成することができます。トレモロの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
Mode	VLV および SQR	バルブトレモロおよびスクエア (矩形波) トレモロ。
Speed	0 - 10	トレモロ振動の速度を調整します。
Depth	0 - 10	トレモロ効果の深さを調整します。
Skew	-50 - +50	振幅変調を実行する波形の形状を調整します。値の範囲にまたがる波形の変動は、ビンテージおよびモダンサウンドのトレモロ間で移動します。

17 DEL

DEL はディレイを意味します。ディレイ FX はアンプの FX ループ経由で接続されるのが一般的です。DEL を選択した場合、スイッチの LED が 2 秒間赤色に点灯した後、点滅して現在ディレイテンポであることを示します。CODE には、以下のディレイ FX があります。

ディレイタイプ



Studio

スタジオディレイは、最大 4 秒のディレイを生じるハイファイ・ディレイです。この長いディレイ時間により、層状のループを生成してジャムセッションすることができます。スタジオディレイの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
Time	0 - 4000	ディレイ繰り返し時間をミリ秒単位で調整します。
Feedback	0 - 10	ディレイ繰り返しの数を調整します。
Frequency	0 - 10	ディレイ繰り返しの高周波数成分の量を調整します。
Level	0 - 10	ディレイ効果のレベルを調整します。

フロントパネルの機能 (続き)

17 DEL (続き)

ディレイタイプ



Vintage

ビンテージディレイは、アナログディレイのサウンドを再現します。ビンテージディレイの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
Time	0 - 4000	ディレイ繰り返し時間をミリ秒単位で調整します。
Feedback	0 - 10	ディレイ繰り返しの数を調整します。
Age	0 - 10	よりビンテージ感のあるサウンドのディレイにするために、「フラッター」の量および高周波数の減衰を調整します。
Level	0 - 10	ディレイ効果の音量レベルを調整します。

Multi

マルチディレイは、リズムカルな繰り返しを追加して、より複雑なディレイパターンを生成します。マルチディレイの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
Time	0 - 4000	ディレイ繰り返し時間をミリ秒単位で調整します。
Feedback	0 - 10	ディレイ繰り返しの数を調整します。
Tap Pattern	1 - 4	4つのディレイ繰り返しパターンから選択します
Level	0 - 10	ディレイ効果の音量レベルを調整します。

Reverse

リバースディレイはリバースしたサウンドを繰り返します。これは、サウンドにテクスチャと不気味な印象を追加することができます。リバースディレイの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
Time	0 - 4000	ディレイ繰り返し時間をミリ秒単位で調整します。
Feedback	0 - 10	ディレイ繰り返しの数を調整します。
Frequency	0 - 10	ディレイ繰り返しの高周波数成分の量を調整します。
Level	0 - 10	ディレイのレベルを調整します。 レベルを上げると元のドライ信号は減少します。

フロントパネルの機能 (続き)

17 DEL (続き)

ディレイタイプ



タップテンポ

EDITノブをタップするか、オプションの CODE フットコントローラーで割り当てられたボタンをタップして、ディレイ時間を設定します。これにより、演奏する音楽のテンポにディレイ時間を素早く簡単に合わせることができます。

タップテンポを有効にするには:

- MOD および DEL セクションスイッチを同時に押します。
- ディスプレイ画面にディレイ時間がミリ秒単位で表示されます。
- EDITノブを回してディレイ時間をミリ秒単位で選択するか、繰り返しタップして、ディレイ時間を見つけるか、テンポに合わせます。
- 終了/保存を一度押してタップテンポを終了し、メインプリセット画面に戻ります。

❗ 有効な場合、DEL セクションスイッチ LED が現在のディレイ時間またはテンポに合わせて点滅します。

18 REV

REV はリバーブを意味します。一般的にリバーブはストンプ型/ラック型やアンプに内蔵されています。CODE には、以下のリバーブ FX があります。

リバーブタイプ



Room

ルームリバーブは、小さな部屋から大きめの部屋の音響反射を再現します。ルームリバーブの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
Decay	0 - 10	反射の減衰にかかる時間を調整します。
Pre-delay	0 - 10	最初の反射が聞こえるまでの時間を調整します。
Tone	0 - 10	反射の高周波数成分の量を調整します。
Level	0 - 10	リバーブ効果のレベルを調整します。

フロントパネルの機能 (続き)

18 REV (続き)

リバーブタイプ



Hall

ホールリバーブは、ホールサイズの空間の長い音響反射を再現します。ホールリバーブの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
Decay	0 - 10	反射の減衰にかかる時間を調整します。
Pre-delay	0 - 10	最初の反射が聞こえるまでの時間を調整します。
Tone	0 - 10	反射の高周波数成分の量を調整します。
Level	0 - 10	リバーブ効果のレベルを調整します。

Spring

スプリングリバーブは、クラシックで、アナログなリバーブ FX の作成方法です。従来のスプリングリバーブでは、複数のバネが取り付けられた金属製トレイを使用します。ギター信号がスプリングを伝わり、ビンテージ感のあるサウンドのリバーブ効果が生じます。スプリングリバーブの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
Decay	0 - 10	反射の減衰にかかる時間を調整します。
Pre-delay	0 - 10	最初の反射が聞こえるまでの時間を調整します。
Tone	0 - 10	反射の高周波数成分の量を調整します。
Level	0 - 10	影響を受けない信号に適用されるリバーブ効果のレベルを調整します。

日本語

フロントパネルの機能 (続き)

18 REV (続き)

リバーブタイプ



Stadium

スタジアムリバーブは、非常に大きな空間の音響反射を再現します。スタジアムリバーブの編集可能なパラメータは以下の通りです。

パラメータ	値の範囲	説明
decay	0 - 10	反射の減衰にかかる時間を調整します。
Pre-delay	0 - 10	最初の反射が聞こえるまでの時間を調整します。
Tone	0 - 10	反射の高周波数成分の量を調整します。
level	0 - 10	リバーブ効果のレベルを調整します。

19 Power

アンプのパワーアンプセクションです。パワーバルブはサウンドやレスポンスに大きく影響します。MSTモデリングによりCODEは4種類のパワーアンプモデルを忠実に再現します。

パワーアンプモデル



クラシック Marshall 100W
クラス A/B 100 ワット、EL34

パラメータ	値の範囲	説明
Presence	0 - 10	サウンドに高周波数成分を追加するパワーステージ機能です。
Resonance	0 - 10	サウンドにローエンドの衝撃音を追加するパワーステージ機能です。

日本語

フロントパネルの機能 (続き)

19Power(続き)

パワーアンプモデル



ビンテージ Marshall 30W
クラス A/B 30 ワット、5881

パラメータ	値の範囲	説明
Presence	0 - 10	サウンドに高周波数成分を追加するパワーステージ機能です。
Resonance	0 - 10	サウンドにローエンドの衝撃音を追加するパワーステージ機能です。

イギリス製クラス A
クラス A 30 ワット、EL84

パラメータ	値の範囲	説明
Presence	0 - 10	サウンドに高周波数成分を追加するパワーステージ機能です。
Resonance	0 - 10	サウンドにローエンドの衝撃音を追加するパワーステージ機能です。

アメリカ製クラス A/B
クラス A/B 100 ワット、6L6

パラメータ	値の範囲	説明
Presence	0 - 10	サウンドに高周波数成分を追加するパワーステージ機能です。
Resonance	0 - 10	サウンドにローエンドの衝撃音を追加するパワーステージ機能です。

フロントパネルの機能 (続き)

20 CAB

CAB は、スピーカーキャビネットを意味します。CAB のスピーカー構成およびそのサイズは、アンプ全体のサウンドに非常に大きな役割を果たします。

CODE アンプの MSTモデリングされたスピーカーキャビネットは、歴代のマーシャルキャビネットを忠実に再現しています。

キャビネットタイプ



1960	クラシック 4 x 12 インチ Celestion G12-T75 スピーカー
1960V	4 x 12 インチ、Celestion Vintage スピーカー
1960AX	4 x 12 インチ、Celestion G12M-25 スピーカー
1960HW	4 x 12 インチ、Celestion G12H-30 スピーカー
1936	クラシック 2 x 12 インチ Celestion G12-T75 スピーカー
1936V	2 x 12 インチ、Celestion Vintage スピーカー
1912	クラシック 1 x 12 インチ Celestion G12-B150 スピーカー
1974CX	1 x 12 インチ Handwired、G12M-20 スピーカー

21 EXIT/STORE

どの画面でも、終了/保存を押すと、メインプリセット画面に戻ります。

どの画面でも、終了/保存を長押しして、編集した設定をクイックストアできます。編集した設定は現在のプリセットに上書きで保存され、表示がメインプリセット画面に戻ります。

❗ プリセットの保存および命名方法については、この取扱説明書の「プリセットの保存」のセクションを参照してください。

22 ディスプレイ

ディスプレイ画面には、プリセット名、番号、パラメータ設定およびチューナー表示が表示されません。

プリセットの編集

プリ FX、AMP、MOD、DEL、REV、パワーおよび CAB セクションの設定を編集するには:

- 編集するセクションスイッチを長押しします (この取扱説明書の 14 - 20) - スイッチ LED が緑色に点灯します。
- ディスプレイ画面に現在のプリアンプ、FX、パワーステージまたはスピーカーキャビネットが表示されます。
- プリセットセレクター (この取扱説明書の 8) を回して、セクションのプリアンプ、FX、パワーステージまたはスピーカーキャビネットをスクロールします。

! スピーカーキャビネットモデルは編集できません。

- 編集するプリアンプ、FX またはパワーステージが見つかったら、プリセットセレクターを押して編集を開始します。
- ディスプレイ画面にパラメータと現在の値が表示されます。
- パラメータ値を編集するには、プリセットセレクターを回します。

- 次のパラメータに移動するには (もしあれば)、プリセットセレクターを押します。
- そのパラメータ値を編集するには、プリセットセレクターを回します。
- セクションの編集するすべてのパラメータおよびパラメータ値について手順を繰り返します。
- プリセットの編集が終わったら、CODE アンプのメモリに保存することができます。

! 編集したプリセットの保存方法については、この取扱説明書の「プリセットの保存」のセクションを参照してください。

- 編集内容を保存せずに終了するには、終了/保存 (この取扱説明書の 21) を押しします。メインプリセット画面に戻ります。
- プリセット以外の項目にスクロールすると、最後に保存した設定に戻ります。

! 編集した設定を保持するには、プリセットから移動する前に確実に保存してください。

プリセットの保存

編集したプリセットを保存するには、編集したプリセットを新しい場所に保存するには、編集したプリセットの名前を変更するには:

- 編集が終了したら、終了/保存を長押しして、プリセット名を点滅させます。
- 編集したプリセットを別の場所に保存するには、プリセットセレクターを回して新しい場所を見つけ、ディスプレイ画面に「STORED (保存済み)」と表示されるまで、終了/保存を長押しします。
- !** プリセットを保存すると、その場所に保存されていたプリセットが上書きされるため、適切な保存先が選択されていることを確認してください。

プリセットの保存 (続き)

編集したプリセットの名前を変更して、現在の場所に保存するには:

- プリセット名が点滅している間に、終了/保存を再度長押しして、プリセット名の最初の文字の位置でカーソルが点滅する状態にします
- プリセットセレクターを回して、文字を変更します。
- 目的の文字が見つかったら、プリセットを押して選択します。カーソルは、自動的に次の文字の位置に移動します。
- プリセットの名前の変更が終了するまで手順を繰り返します。

セクションスイッチは命名のショートカットとして機能します:

命名ショートカット	
プリ FX	クリア
AMP	数字
MOD	大文字/小文字 A
DEL	大文字/小文字
REV	スペース
パワー	バックスペース
CAB	キャンセル

- 保存プロセスを完了するには、ディスプレイ画面に STORED (保存済み) と表示されるまで、終了/保存を再度長押しします。編集したプリセットが CODE のメモリに保存されました。

BLUETOOTH

REV およびパワーセクションスイッチ (この取扱説明書の 18 および 19) を同時に押し、Bluetooth® ペアリング機能にアクセスします:

- ディスプレイ画面に「Bluetooth, pairing enabled (Bluetooth ペアリング有効)」というメッセージと、CODE アンプのペアリング ID が表示されます。
- ペアリング中は、終了/保存 (この取扱説明書の 21) の青色 LED が点滅します。
- ペアリングが完了すると、青色 LED の点滅が止まり、点灯状態になります。
- オーディオをストリーミングする場合は、マスター音量コントロールまたはミュージックプレーヤーを使用して音量レベルを設定します。
- !** Bluetooth 経由でストリーミングされるオーディオは、マスター音量を除き、CODE のパネル機能をバイパスします。

Marshall Gateway™ App を使用して、CODE アンプをリモート制御し、iOS/Android デバイスから Marshall Gateway にアクセスすることができます。App Store または Google Play から Marshall Gateway App をダウンロードしてください。



ギターチューナー

プリ FX および AMP セクションスイッチ (この取扱説明書の 14 および 15) を同時に押し、ギターチューナーにアクセスします。



- ・ 弦をはじくと、演奏した音階が表示されます。
- ・ チューニングする音階が画面に表示されるまで、弦をチューニングします。
- ・ 垂直線の左側の矢印は、音がフラットであることを意味し、垂直線の右側の矢印は、音がシャープであることを意味します。
- ・ 矢印が消えたら、弦は表示された音にチューニングされています。
- ・ 終了/保存を押して、チューナーを終了します。

出荷時リセット

出荷時リセットを実行すると、CODE のプリセットが購入時の状態に戻ります。

! 出荷時リセットを実行する前に、カスタマイズしたプリセットがすべて上書きされてもよいか確認してください。

出荷時リセットを実行するには:

- ・ オン/オフスイッチ (この取扱説明書の 13) を使用して、アンプの電源をオフにします。
- ・ AMP セクションスイッチを押しながら、電源をオンにします。
- ・ 画面に、アンプが出荷時の設定に戻ることを通知するメッセージが表示されます。
- ・ 出荷時リセットを実行するには、終了/保存スイッチを長押しして確定します。
- ・ 出荷時リセットを実行しない場合は、他のスイッチを押して出荷時リセット操作をキャンセルし、アンプを通常通り起動します。

付属品の名称及び数量
・電源ケーブル: 1個
・クイックスタート: 1枚
・保証書: 1枚

問い合わせ先(製品と修理のご相談)
お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口
TEL(ナビダイヤル): 0570-056-808
上記番号でつながらない場合: 053-533-5003

輸入発売元
株式会社ヤマハミュージックジャパン
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
<http://www.marshallamps.jp/>



MARSHALLAMPS.COM



Marshall Amplification plc, Denbigh Road,
Bletchley, Milton Keynes, MK1 1DQ, England.
Tel: +44 (0) 1908 375411 | Fax: +44 (0) 1908 376118
Registered in England. 登録番号: 805676

本書に掲載の情報は発行時点のもので、マーシャル・アンプリフィケーション社はポリシーとして常に改善と発展を心がけており、事前の予告なしに、仕様書を変更する権利を留保します。